

物流施設におけるDX推進実証事業

計画申請事業者様向け 申請書類提出前チェックシート

物流施設におけるDX推進事務局

2024年11月

1. 様式間の整合性確認

金額の整合性確認

✓各様式の **事業費** **補助金申請額** が整合しているか？

A 様式 1

事業申請書

物流DX推進実証事業公募要領（以下「公募要領」という。）II. 申請事業者に係る公募の2申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について下記のとおり申請します。

記

- 間接補助事業の目的及び内容
様式2 物流DX推進実証計画書及び様式2別紙のとおり
- 間接補助事業の開始及び完了予定日 令和6年7月15日 ~ 令和7年2月28日
- 間接補助事業に要する経費 **10,000,000 円 (税抜)**
- 補助対象経費 10,000,000 円 (税抜)
- 補助金交付申請額 **5,000,000 円 (税抜)**

B 様式 2 別紙

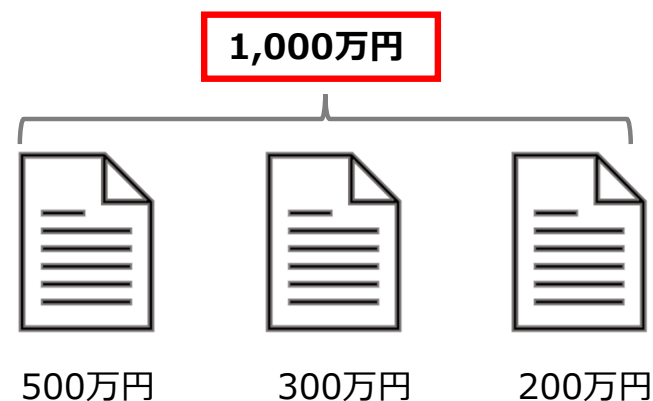
類型	①人の作業を減らす・なくす	
事業者名	〇〇株式会社	
施設名	〇〇センター	
所在地	〇〇県〇〇市	
契約先	〇〇株式会社（システムと機器の双方を記載する）	
事業費 (税抜)	システム構築・連携	自動化・機械化機器
	600万円	400万円
補助金申請額 (税抜)	システム構築・連携	自動化・機械化機器
	300万円	200万円
補助率	1/2	

C 様式 3

経費内訳 (単位：円) ※税抜で統一して記載

補助対象経費の区分 ^{※1} と内訳 ^{※2}		間接補助事業に要する経費 ^{※3}	補助対象経費 ^{※4}	補助率	補助金の額 (交付申請額)
①システム構築・連携 在庫管理システム構築	業務費	2,000,000	2,000,000	1/2	5,000,000
	設備費	2,000,000	2,000,000		
	事務費	2,000,000	2,000,000		
計	6,000,000	6,000,000			
②自動化・機械化機器導入 自立走行型搬送・AIピッキングロボットの導入	業務費	1,000,000	1,000,000		
	設備費	2,000,000	2,000,000		
	事務費	1,000,000	1,000,000		
	計	4,000,000	4,000,000		
合計		10,000,000	10,000,000		

D 採用する見積書の総額



スケジュールの整合性確認

✓各様式の **事業期間** **実施期間** **事前期間** が整合しているか？

A 様式 1

事業申請書

物流DX推進実証事業公募要領（以下「公募要領」という。）Ⅱ.申請事業者に係る公募の2申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について下記のとおり申請します。

記

1. 間接補助事業の目的及び内容
様式2 物流DX推進実証計画書及び様式2別紙のとおり
2. 間接補助事業の開始及び完了予定日 **令和6年12月27日 ～ 令和7年2月28日**
3. 間接補助事業に要する経費 10,000,000円（税抜）
4. 補助対象経費 10,000,000円（税抜）
5. 補助金交付申請額 5,000,000円（税抜）

B 様式 2 別紙 > サマリ

計画概要	事業期間	R6年12月27日 ～ R6年2月28日
	計画概要	<p>※仮説を検証する具体的なアクションが記載されているかどうか</p> <p>①システムの構築・連携 XXXXXXの知見を有する企業と連携し、XXXXXXとしてのシステムを構築する</p> <p>②省人化・自動化機器の導入 XXXXXXを有する企業から、XXXを購入し、XXXの作業に充当する</p>

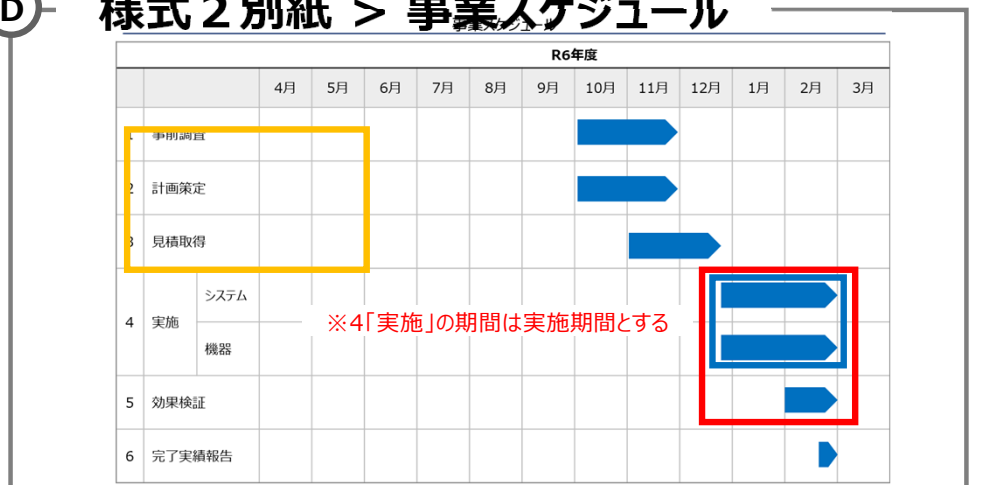
C 様式 2

事業実施のスケジュール

*「事業の内容」に記載した内容に関するスケジュールを記載する

- 事前調査：令和6年10月～令和6年11月
- 計画策定：令和6年10月～令和6年11月
- 見積取得：令和6年11月～令和6年12月
- 事業実施
 - ① システム構築・連携：令和6年12月～令和7年2月
 - ② 自動化・機械化機器導入：令和6年12月～令和7年2月

D 様式 2 別紙 > 事業スケジュール



2.各様式の確認ポイント

様式 1 の確認ポイント

(様式第 1)

令和 6 年 11 月 〇〇 日

「物流施設における D X 推進」事務局

氏名 法人にあつては名称 〇〇株式会社
及び代表者名 物流太郎

事業申請書

物流 D X 推進実証事業公募要領 (以下「公募要領」という。) II. 申請事業者に係る公募の 2 申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について

✓ 最長で令和 6 年 12 月 27 日※～令和 7 年 2 月 28 日まで
(この期間内になっているか)

記

※交付申請手続きに時間を要する可能性があるため、事業開始は 12 月末に設定

1. 間接補助事業の目的及び内容

様式 2 物流 D X 推進実証計画書及び様式 2 別紙のとおり

2. 間接補助事業の開始及び完了予定日

令和 6 年 12 月 27 日 ~ 令和 7 年 2 月 28 日

3. 間接補助事業に要する経費

10,000,000 円 (税抜)

✓ 見積書の金額と整合しているか

4. 補助対象経費

10,000,000 円 (税抜)

✓ 2 分の 1 以下になっているか

5. 補助金交付申請額

5,000,000 円 (税抜)

様式2の確認ポイント

事業実施の スケジュール	<p>* 「事業の内容」に記載した内容に関するスケジュールを記載する</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事前調査：令和6年10月～令和6年11月・ 計画策定：令和6年10月～令和6年11月・ 見積取得：令和6年11月～令和6年12月・ 事業実施 <p>① システム構築・連携：令和6年12月～令和7年2月</p> <p>② 自動化・機械化機器導入：令和6年12月～令和7年2月</p>
-----------------	--

✓ 下記の事業実施以前の月になっているか

✓ 最長で令和6年12月～令和7年2月まで
(この期間内になっているか)

様式3の確認ポイント

- ✓ 税抜額になっているか
- ✓ 合計額が合っているか
- ✓ 見積書の金額と一致しているか

- ✓ 税抜額になっているか
- ✓ 補助対象経費の2分の1以下になっているか
- ✓ 補助上限額を超過する場合は上限額※を記載

(様式第3)

経費内訳

(単位：円) ※税抜で統一して記載

補助対象経費の区分※1と内訳※2		間接補助事業に要する経費※3	補助対象経費※4	補助率	補助金の額 (交付申請額)
①システム構築・連携 在庫管理システム構築	業務費	2,000,000	2,000,000	1/2	5,000,000
	設備費	2,000,000	2,000,000		
	事務費	2,000,000	2,000,000		
	計	6,000,000	6,000,000		
②自動化・機械化機器導入 自立走行型搬送・AIピッキング ロボットの導入	業務費	1,000,000	1,000,000	1/2	5,000,000
	設備費	2,000,000	2,000,000		
	事務費	1,000,000	1,000,000		
	計	4,000,000	4,000,000		
合計		10,000,000	10,000,000	1/2	5,000,000

1/2以下

※システム（補助上限額：1.15億円）と機器（補助上限額：0.25億円）を合わせた1.4億円が補助上限額

様式2別紙 > サマリの確認ポイント

- ✓ 税抜額になっているか
- ✓ 補助金申請額は事業費の2分の1以下になっているか
- ✓ 補助上限額を超過する場合は上限額※を記載

- ✓ 最長で令和6年12月27日※～令和7年2月28日まで（この期間内になっているか）

※交付申請手続きに時間を要する可能性があるため、事業開始の例は12月末に設定

<table border="1"> <tr> <td>類型</td> <td colspan="2">下記から1つ選択する ①人の作業を減らす・なくす、②人の作業を見える化する、③人の作業を助ける</td> </tr> <tr> <td>事業者名</td> <td colspan="2">〇〇株式会社</td> </tr> <tr> <td>施設名</td> <td colspan="2">〇〇センター</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td colspan="2">〇〇県〇〇市</td> </tr> <tr> <td>契約先</td> <td colspan="2">〇〇株式会社（システムと機器の双方を記載する）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費（税抜）</td> <td>システム構築・連携</td> <td>自動化・機械化機器</td> </tr> <tr> <td>600万円</td> <td>400万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助金申請額（税抜）</td> <td>1/2以下 構築・連携</td> <td>1/2以下 機械化機器</td> </tr> <tr> <td>300万円</td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> </table>	類型	下記から1つ選択する ①人の作業を減らす・なくす、②人の作業を見える化する、③人の作業を助ける		事業者名	〇〇株式会社		施設名	〇〇センター		所在地	〇〇県〇〇市		契約先	〇〇株式会社（システムと機器の双方を記載する）		事業費（税抜）	システム構築・連携	自動化・機械化機器	600万円	400万円	補助金申請額（税抜）	1/2以下 構築・連携	1/2以下 機械化機器	300万円	200万円	補助率	1/2		<table border="1"> <tr> <td>事業期間</td> <td>R6年12月27日～R6年2月28日</td> </tr> <tr> <td>計画概要</td> <td> <p>※仮説を検証する具体的なアクションが記載されているかどうか</p> <p>①システムの構築・連携 XXXXXXの知見を有する企業と連携し、XXXXXXとしてのシステムを構築する</p> <p>②省人化・自動化機器の導入 XXXXXXを有する企業から、XXXを購入し、XXXの作業に充当する</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効果検証</td> <td> <p>※正しく効果検証ができるかどうか</p> <p>物流DXの効果検証方法 物流DX実施前後の作業時間や作業人員、1人当たりの生産性（処理数/人）、スループット（処理数/時）等を比較することで、目指すべき省人化・自動化を実現できたかどうかを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>※効果検証のアクションが明確であるかどうか。KPI未達成の場合でもその後のアクションが記載されているかどうか</p> <p>XXXXXを行うことで、XXXXXの向上につながる事が証明された場合は更なる物流DXを進めるべく、XXXXXと協力を。証明できなかった場合は再度XXXXXを検証する。</p> </td> </tr> <tr> <td>今後の展望</td> <td> <p>※実証事業を行った結果、事業者として先の展望が記載されているかどうか（当該施設のみならず事業者が利用する施設全体への展開、等）</p> <p>本事業により導入されたXXシステムの更なる定着と全国にあるセンターxx施設への展開を目指し、XXXXXXの推進を図る。</p> </td> </tr> </table>	事業期間	R6年12月27日～R6年2月28日	計画概要	<p>※仮説を検証する具体的なアクションが記載されているかどうか</p> <p>①システムの構築・連携 XXXXXXの知見を有する企業と連携し、XXXXXXとしてのシステムを構築する</p> <p>②省人化・自動化機器の導入 XXXXXXを有する企業から、XXXを購入し、XXXの作業に充当する</p>	効果検証	<p>※正しく効果検証ができるかどうか</p> <p>物流DXの効果検証方法 物流DX実施前後の作業時間や作業人員、1人当たりの生産性（処理数/人）、スループット（処理数/時）等を比較することで、目指すべき省人化・自動化を実現できたかどうかを確認する。</p>	<p>※効果検証のアクションが明確であるかどうか。KPI未達成の場合でもその後のアクションが記載されているかどうか</p> <p>XXXXXを行うことで、XXXXXの向上につながる事が証明された場合は更なる物流DXを進めるべく、XXXXXと協力を。証明できなかった場合は再度XXXXXを検証する。</p>	今後の展望	<p>※実証事業を行った結果、事業者として先の展望が記載されているかどうか（当該施設のみならず事業者が利用する施設全体への展開、等）</p> <p>本事業により導入されたXXシステムの更なる定着と全国にあるセンターxx施設への展開を目指し、XXXXXXの推進を図る。</p>
類型	下記から1つ選択する ①人の作業を減らす・なくす、②人の作業を見える化する、③人の作業を助ける																																					
事業者名	〇〇株式会社																																					
施設名	〇〇センター																																					
所在地	〇〇県〇〇市																																					
契約先	〇〇株式会社（システムと機器の双方を記載する）																																					
事業費（税抜）	システム構築・連携	自動化・機械化機器																																				
	600万円	400万円																																				
補助金申請額（税抜）	1/2以下 構築・連携	1/2以下 機械化機器																																				
	300万円	200万円																																				
補助率	1/2																																					
事業期間	R6年12月27日～R6年2月28日																																					
計画概要	<p>※仮説を検証する具体的なアクションが記載されているかどうか</p> <p>①システムの構築・連携 XXXXXXの知見を有する企業と連携し、XXXXXXとしてのシステムを構築する</p> <p>②省人化・自動化機器の導入 XXXXXXを有する企業から、XXXを購入し、XXXの作業に充当する</p>																																					
効果検証	<p>※正しく効果検証ができるかどうか</p> <p>物流DXの効果検証方法 物流DX実施前後の作業時間や作業人員、1人当たりの生産性（処理数/人）、スループット（処理数/時）等を比較することで、目指すべき省人化・自動化を実現できたかどうかを確認する。</p>																																					
	<p>※効果検証のアクションが明確であるかどうか。KPI未達成の場合でもその後のアクションが記載されているかどうか</p> <p>XXXXXを行うことで、XXXXXの向上につながる事が証明された場合は更なる物流DXを進めるべく、XXXXXと協力を。証明できなかった場合は再度XXXXXを検証する。</p>																																					
今後の展望	<p>※実証事業を行った結果、事業者として先の展望が記載されているかどうか（当該施設のみならず事業者が利用する施設全体への展開、等）</p> <p>本事業により導入されたXXシステムの更なる定着と全国にあるセンターxx施設への展開を目指し、XXXXXXの推進を図る。</p>																																					
<table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>物流DXを実施する背景</p> <p>※事業者および施設として抱える課題や具体的施策との整合性があるかどうか</p> <p>XXXによってXXXへの対応が難しくなってきた。については今後の生産性向上を目論んだ物流DXの取組推進が必要である。</p> </td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td> <p>※本事業の取組により期待される効果を記載する（定量・定性の双方が望ましい）</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業動線の改善による品質向上 作業効率の向上による施設内の省人化 トラックドライバーの待機時間の削減、等 </td> </tr> </table>	事業概要	<p>物流DXを実施する背景</p> <p>※事業者および施設として抱える課題や具体的施策との整合性があるかどうか</p> <p>XXXによってXXXへの対応が難しくなってきた。については今後の生産性向上を目論んだ物流DXの取組推進が必要である。</p>	期待される効果	<p>※本事業の取組により期待される効果を記載する（定量・定性の双方が望ましい）</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業動線の改善による品質向上 作業効率の向上による施設内の省人化 トラックドライバーの待機時間の削減、等 																																		
事業概要	<p>物流DXを実施する背景</p> <p>※事業者および施設として抱える課題や具体的施策との整合性があるかどうか</p> <p>XXXによってXXXへの対応が難しくなってきた。については今後の生産性向上を目論んだ物流DXの取組推進が必要である。</p>																																					
期待される効果	<p>※本事業の取組により期待される効果を記載する（定量・定性の双方が望ましい）</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業動線の改善による品質向上 作業効率の向上による施設内の省人化 トラックドライバーの待機時間の削減、等 																																					

※システム（補助上限額：1.15億円）と機器（補助上限額：0.25億円）を合わせた1.4億円が補助上限額

様式2別紙 > 事業スケジュールの確認ポイント

		R6年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	事前調査							▶	▶	▶			
2	計画策定							▶	▶	▶			
3	見積取得								▶	▶	▶		
4	実施	システム	✓ 最長で令和6年12月27日※～令和7年2月28日まで (この期間内になっているか) ※交付申請手続きに時間を要する可能性があるため、事業開始の例は12月末に設定									▶	
		機器										▶	
5	効果検証											▶	
6	完了実績報告											▶	

✓ 完了実績報告も原則として2月末までに実施